

# 公安委員会定例会議の開催概要

開催日時 平成31年 1月11日（金） 10時00分 ～ 12時20分

## 1 議題事項

なし

## 2 報告事項

### (1) 平成30年の犯罪統計について（暫定値）

県警察から、「平成30年の犯罪統計について、暫定値ではあるが、刑法犯の認知件数、検挙件数は減少し、検挙人員は増加、検挙率は上昇した。殺人、強盗などの重要犯罪及び侵入窃盗、自動車盗などの重要窃盗犯は、認知件数、検挙件数、検挙人員は減少し、検挙率は上昇した。」旨の報告があった。

委員から、「引き続き、抑止対策を進めていただきたい。」旨の発言があった。

### (2) 平成30年中における特殊詐欺の取扱状況について

県警察から、「平成30年中における特殊詐欺の認知件数は42件で4年連続で減少し、被害金額も約5,800万円と減少した。手口別では、架空請求詐欺が多く全体の約7割を占めた。検挙件数、検挙人員は減少した。抑止対策として、特殊詐欺被害防止広報コールセンターによる県民への注意喚起、テレビやラジオ、メールマガジンを活用した注意喚起を行った。」旨の報告があった。

委員から、「県民が被害に遭わないように、各種啓蒙活動を地道に展開していただきたい。」旨の発言があった。

### (3) 現場鑑識技術競技会の開催について

県警察から、「2月5日、警察学校において、地域警察官及び指定鑑識代行者の鑑識技術の向上を図り、客観証拠の収集技術強化と初動捜査の高度化に資することを目的に、現場鑑識技術競技会を開催する。地域警察官及び指定鑑識代行者の2人編成で、22チーム44人が参加予定である。」旨の報告があった。

### (4) 平成30年中の青森県内における交通事故発生状況について

県警察から、「平成30年中の交通事故発生状況は、発生件数、負傷者数は17年連続で減少した。交通死亡事故の発生件数は減少したが、複数の死者を伴う交通事故が3件発生したことにより、死者数は増加した。交通死亡事故の主な特徴としては、死者45人中、高齢者が29人で6割以上を占めたほか、飲酒運転による死者が12人で約3割を占めた。また、歩行中の死者16人中、高齢者が14人で約9割を占めた。」旨の報告があった。

委員から、「去年は飲酒運転による死亡事故が多発したというデータが出ているので、これに絞った交通取締りの強化が必要と感じた。」旨の発言があった。

以 上